

# 2015年度 第2四半期決算説明会

---

2015年11月24日

株式会社 A D E K A  
証券コード 4 4 0 1

---

# 2015年度上期（第2四半期）決算説明

〔2015年4月～2015年9月〕

代表取締役社長 郡 昭夫

# 目次

1. 2015年度上期 連結業績
2. 2015年度 連結業績予想
3. 2015年度 事業施策
4. 新規事業の育成
5. ご参考
  - ・ 2015年標語
  - ・ 海外売上高

# 1. 2015年度上期 連結業績

# 2015年度上期 連結業績の概要

## 連結

(単位：億円)

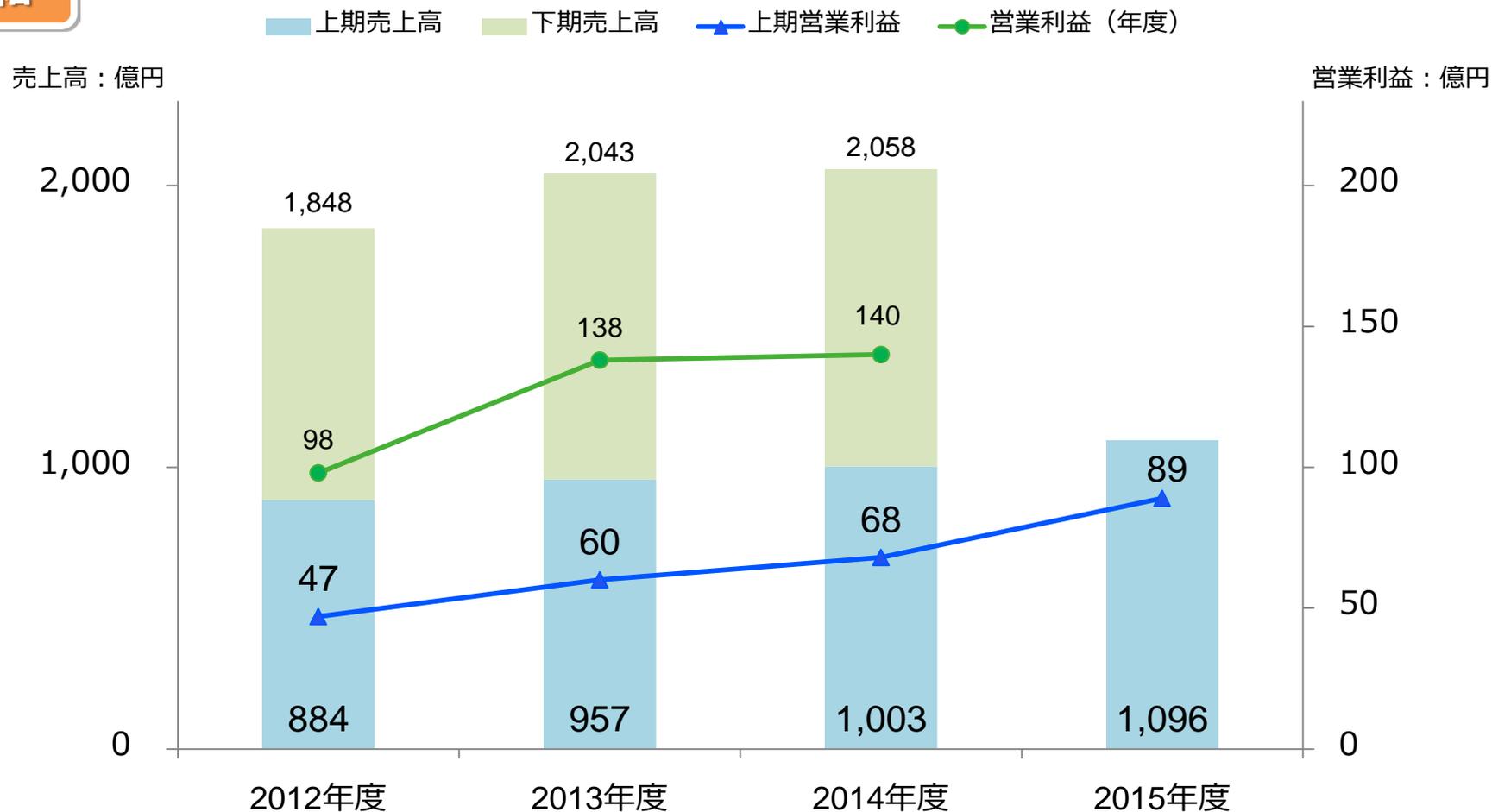
	2014年度上期	2015年度上期	増減	増減率 (%)
売上高	1,003	1,096	93	9.3
営業利益	68	89	21	31.3
経常利益	72	87	14	19.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	50	58	8	16.9
1株当たり 四半期純利益 (円/株)	48.6円	56.8円	8.2円	
配当金 (円/株)	12円	14円	2円	

- 売上高は、海外子会社の牽引により堅調に推移し、前年同期に比べ増収となった。
- 中国をはじめとするアジア地域での業績が好調に推移したことや収益改善策の成果等により、営業利益は前年同期を大きく上回った。
- 経常利益、純利益においても営業利益の改善により増益となった。
- 会計方針の変更  
海外子会社の業績をよりの確に連結財務諸表に反映させるため、2015年度より、海外子会社の収益及び費用の為替換算方法を期末日レート法から期中平均レート法に変更した。

注1) 2014年度上期は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# 連結業績推移

## 連結



注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# 2015年度上期 連結業績(セグメント別数値)

(単位：億円)

## 連結

	2014年度上期	2015年度上期	増減	増減率(%)
売上高	1,003	1,096	93	9.3
<b>化学品</b>	704	768	63	9.0
情報・電子化学品	99	103	4	4.0
機能化学品	530	570	40	7.6
基礎化学品	75	94	19	25.6
<b>食品</b>	265	294	29	11.2
<b>その他</b>	33	33	0	1.7
営業利益	68	89	21	31.3
<b>化学品</b>	61	81	20	33.4
情報・電子化学品	19	22	3	16.2
機能化学品	40	49	8	21.9
基礎化学品	1	9	8	597.7
<b>食品</b>	3	5	1	41.9
<b>その他</b>	3	2	△ 0	△ 22.1

注1) 2014年度上期は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# セグメント情報 / 化学品事業 (情報・電子化学品)

## 連結

### 情報・電子化学品 (増収・増益)

1. 半導体材料は、最先端の微細化プロセスに対応した新規高誘電材料が海外を中心に伸長した。
2. 回路材料は、国内市場の縮小や海外需要先での生産調整の影響を受け、総じて低調に推移した。
3. 光学フィルムやフォトレジストに使用される光硬化樹脂や光重合開始剤などの感光性材料は、ディスプレイの高精細化や半導体の微細化に対応した競争力の高い独自製品が引き続き国内外で大きく伸長した。

(単位：億円)

	2014年度上期	2015年度上期	増減
売上高	99	103	4
営業利益	19	22	3

注1) 2014年度上期は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# セグメント情報 / 化学品事業 (機能化学品)

## 連結

### 機能化学品 (増収・増益)

1. 樹脂添加剤は、国内の自動車及び建材向けの需要は期後半にやや持ち直したが、本格的な回復に至らず、販売数量は前年同期を下回った。海外では造核剤、紫外線吸収剤などの高機能製品と汎用の酸化防止剤が伸長した。
2. 界面活性剤は、化粧品原料の販売数量がユーザーの在庫調整で減少したが、建築塗料向けの反応性乳化剤が国内外で伸長した。
3. 潤滑油添加剤は、自動車の燃費向上とCO<sub>2</sub>排出低減に寄与するエンジンオイル向け添加剤が国内外で堅調に推移した。
4. 機能性樹脂は、自動車向けの高機能な特殊エポキシ樹脂が市場ニーズの拡大を受け伸長した。

(単位：億円)

	2014年度上期	2015年度上期	増減
売上高	530	570	40
営業利益	40	49	8

注1) 2014年度上期は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# セグメント情報 / 化学品事業(基礎化学品)

## 連結

### 基礎化学品 (増収・増益)

1. プロピレングリコール類は、トイレタリー等の日用品用途がインバウンド需要の拡大もあり、堅調に推移した。
2. 過酸化水素及びその誘導品などは、引き続き販売価格の改定や生産・物流効率の見直しなどのコスト削減に取り組んだ。

(単位：億円)

	2014年度上期	2015年度上期	増減
売上高	75	94	19
営業利益	1	9	8

注1) 2014年度上期は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# セグメント情報 / 食品事業

## 連結

### 食品（増収・増益）

1. 製パン、洋菓子・デザート向けにマーガリン類、ホイップクリーム、フィリング類の販売が好調に推移した。
2. 海外では、加工油脂製品、フィリング類の販売が拡大し、売上・利益とも伸長した。

（単位：億円）

	2014年度上期	2015年度上期	増減
売上高	265	294	29
営業利益	3	5	1

注1) 2014年度上期は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

## 2. 2015年度 連結業績予想

# 2015年度 連結業績予想

## 連結

(単位：億円)

	2015年度			増減 注1)	増減率 (%)
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)		
売上高	1,096	1,173	2,270	211	10.3
営業利益	89	88	178	37	27.1
経常利益	87	92	180	14	9.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	58	63	122	10	9.1
1株当たり純利益 (円/株)	56.8円	61.4円	118.2円	9.8円	
配当金 (円/株)	14円	14円	28円	2円	

		2015年度前提		2014年度実績
		期初	下期	
為替	円/\$	118.00	123.00	109.93
	円/€	135.00	132.00	138.77
ナフサ	円/KL	50,000	50,000	63,450

注1) 増減は、会計方針の変更による遡及適用後の2014年度実績と対比して算出した数値を記載

注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# 2015年度 連結業績予想のポイント

## ■ 通期業績予想の修正

- 上期実績は堅調に推移し、業績予想に対し、売上高は若干の未達、営業利益は大きく上回る結果となった。  
通期業績予想は、下期以降の市場環境に不透明感があることから、売上高は△70億円の減額修正、営業利益は上期が対予想で約20億円上振れたが、通期では+13億円の増額修正としている。
- なお、経常利益は、持分法投資利益の減少を見込んだことにより、増減はなし。

## ■ 過去最高業績の更新

売上高・営業利益・経常利益・純利益、いずれも過去最高更新を予想している。

\* 過去最高益：営業利益は172億円、経常利益は173億円（ともに2005年度）。

# 2015年度 連結業績予想(セグメント別)

(単位：億円)

## 連結

	上期実績 (a)	下期予想 (b)	通期予想 (a)+(b)	前年度実績 (c)	増減 (a)+(b)-(c)	増減率 (%)
売上高	1,096	1,173	2,270	2,058	211	10.3
<b>化学品</b>	768	806	1,575	1,424	150	10.6
情報・電子化学品	103	126	230	192	37	19.6
機能化学品	570	604	1,175	1,074	100	9.4
基礎化学品	94	75	170	158	11	7.5
<b>食品</b>	294	330	625	570	54	9.6
<b>その他</b>	33	36	70	63	6	9.6
営業利益	89	88	178	140	37	27.1
<b>化学品</b>	81	78	160	123	36	29.7
情報・電子化学品	22	29	52	33	18	54.3
機能化学品	49	44	94	81	12	15.3
基礎化学品	9	4	14	8	5	71.4
<b>食品</b>	5	7	13	11	1	13.8
<b>その他</b>	2	2	5	5	△ 0	△ 4.8

注1) 前年度実績は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

## 3. 2015年度 事業施策

# 2015年度 事業施策(情報・電子化学品)

## ➤ 情報化学品

### ■ 光材料

光硬化樹脂や光重合開始剤は、成長が続く液晶ディスプレイ分野での販売を拡大するとともに、半導体レジスト分野の市場開拓に注力する。

### ■ 画像材料

液晶ディスプレイ向けに、ブラックマトリクス原料や現像液などの販売・開発・生産体制を見直し、シェア拡大を狙う。

## ➤ 電子材料

### ■ 半導体材料

高誘電材料は、DRAM・NANDメモリー向けの新製品及び既存品の販売を拡大する。また、ロジック半導体向けの販売を強化し、業容拡大を図る。

### ■ 回路材料

エッチング薬剤は、スマートフォンなどのモバイル端末の高機能化に対応し、採用拡大を目指す。

### ■ 高純度ガス

液晶パネル、光ファイバー向けの販売数量を伸ばし、シェア拡大を目指す。

# 2015年度 事業施策(情報・電子化学品)

## ➤ 高感度光重合開始剤 アデカアークルズNCIシリーズ

### ディスプレイ市場と当社開発の方向性

#### 市場トレンド

8Kなど次世代テレビ  
スマートフォン  
ウェアラブルデバイス  
省エネルギー  
生産コスト低減



#### 技術トレンド

高精細化  
高輝度化  
高色再現性  
薄型化  
歩留まり向上

#### 光重合開始剤に 求められる性能

#### 高感度

高透明  
高溶解性  
低アウトガス

- 光重合開始剤は、紫外線を照射されると重合を開始する化合物で、樹脂を硬化することができる。

<用途> カラーフィルター用レジストやブラックマトリクス、絶縁膜など

- 高精細化、高輝度化などが求められる最先端の液晶ディスプレイ向けに、高い感度や透明性など特徴のある光重合開始剤を取り揃えている。

# 2015年度 事業施策(機能化学品)

## ➤ 樹脂添加剤

### ■ 高機能製品のグローバルでの拡販

海外11か国14拠点にある生産・販売拠点と連携し、造核剤、光安定剤などの高機能製品を拡販する。

### ■ 汎用品の拡販によるボリュームゾーンへの展開

汎用酸化防止剤の供給体制を強化し、高い成長率が見込まれる新興国市場をターゲットとして販売拡大を目指す。

### ■ 新製品の開発

塩ビ用安定剤：鉛、錫、フェノールを含まない環境調和型の製品を開発しており、採用拡大に向けて国内外で販売を強化する。

高機能添加剤：長波長紫外線吸収剤やヒンダードアミン系光安定剤など、従来の市場に無い独自性ある新製品を次々に投入している。

## <トピックス>

- 2015年にADEKA FINE CHEMICAL(THAILAND)の研究体制（実験/製品評価設備）を強化した。
- 2014年に増強したUAEのワンパック顆粒添加剤生産設備は、高稼働を継続している。



▲ ADEKA FINE CHEMICAL(THAILAND)

# 2015年度 事業施策(機能化学品)

## ➤ 界面活性剤

### ■ 潤滑油添加剤

エンジンオイル添加剤は、アジアでの販売を強化するとともに、国内及び欧州の大手自動車メーカーの採用拡大を目指す。また、ディーゼルエンジン用途への展開を促進する。

### ■ 化粧品原料

国内外の化粧品メーカー向けにゲル化剤の販売を拡大するとともに、新規グリコールの採用拡大を図る。

### ■ 反応性乳化剤

塗料・粘着分野での高機能化ニーズの高まりのなか、反応性乳化剤に増粘剤や消泡剤などの各種添加剤を合わせた総合的な提案を行い、グローバルでの拡販に注力する。

## ➤ 機能性樹脂

### ■ 水系樹脂

鋼板、ガラス繊維向けなどの既存分野のほか、自動車内外装、フィルム・コーティング剤など新規用途への展開を進める。

### ■ エポキシ樹脂

電子材料の微細化、低塩素化などの市場要求に対応し、電材用エポキシ樹脂の販売拡大を目指す。また、自動車や電材向けにエポキシ樹脂接着剤の用途展開を図り、採用拡大を目指す。

# 2015年度 事業施策(基礎化学品)

## ■ プロピレングリコール類

原材料価格の変動に対応しつつ、高品質な製品の安定供給を継続するとともに、誘導品を化粧品、トイレタリー用途向けに拡販する。

## ■ 過酸化水素

徹底したコストダウンを継続するとともに、過硫酸塩類、過酢酸、過炭酸ソーダなど、誘導品の用途拡大を図り、安定した収益確保に努める。

## ■ 産業資材

水膨張性止水剤は、国内での新製品の拡販に加え、海外でのさらなる拡大を図る。

# 2015年度 事業施策(食品)

## ■ 国内の基盤強化

戦略製品の拡販に注力し、製パン・製菓・洋菓子市場でのシェア拡大を目指す。一方で、品種統合などコスト削減を推進する。

- マルシェブルターニュガトー

高品質なブルターニュ産バターを贅沢に配合し、香料に頼らずバターに遜色のない風味を実現。焼き菓子のしっとり感の持続等、バターにない特徴を訴求したコンパウンド製品。

- ソシエル

バター風味や小麦など素材本来の風味を引き立てる植物性マーガリン



▲ソシエル

- ピュアブレンドホイップ

生クリームのおいしさを生かし、風味と口溶けなめらかな食感を持続する生クリームブレンド用ホイップクリーム



▲ピュアブレンドホイップ



▲マルシェブルターニュガトーと応用例

## ■ 海外展開の推進

日本、マレーシア、中国、シンガポールの各拠点が連携し、中国、東南アジアをはじめとするマーケットでのニーズや嗜好にあった製品の開発と販売促進による規模拡大を目指す。

< トピックス >

ADEKA FOODS (ASIA) SDN. BHD.

- 2015年4月 マレーシア政府保健省からHACCP認証を取得



## 4. 新規事業の育成

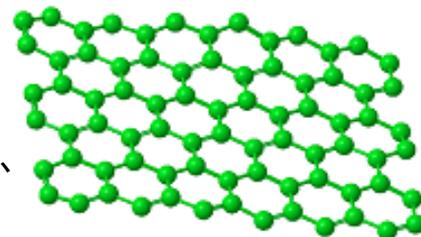
# 新規事業の育成①

## ▶ グラフェンの大量生産方法を開発

### グラフェンとは

フラーレンやカーボンナノチューブに代表されるナノカーボンの一種。

電気を良く通す、軽くて強いなどの特徴があり、将来の燃料電池、半導体、タッチパネルなどの材料として期待されている。



- 東京大学大学院の相田卓三教授らの研究グループが開発した製造技術に関する特許の独占ライセンスを取得し、サンプル提供を開始した。
- 当社の生産方法の特徴は、短時間に高収率で高濃度かつ高品質なグラフェンが得られることであり、2020年までに商業生産を目指している。



▲当社のグラフェンサンプル（分散液/粉末）

## 新規事業の育成②

### ➤ 経鼻投与型インフルエンザワクチンのアジュバント

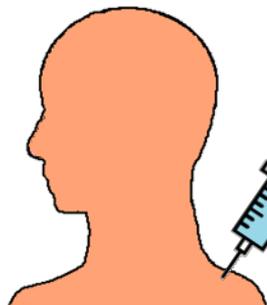
- インフルエンザウイルスの感染防御を確認  
当社が開発したアジュバント（ワクチンの効果を高める補強剤）とインフルエンザワクチンを混合して鼻から吸入させることにより、粘膜下に抗体が産生することを、これまでも確認していた※1。  
今回新たに、インフルエンザウイルス感染防御の効果を、マウスを用いたウイルスの感染実験で確認した※2。

※1： European Journal of Pharmaceutics and Biopharmaceutics.92（2015）56-54で報告

※2： 国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）のA-STEP 2014年度採択事業の成果として公表

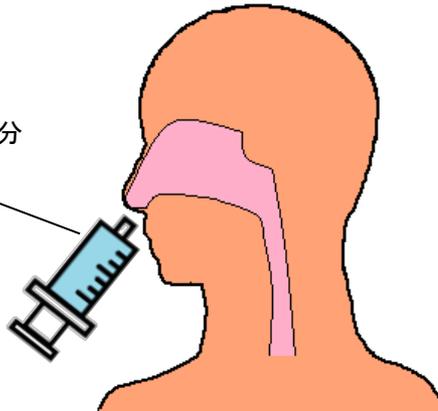
#### インフルエンザワクチンの投与方法

注射投与



ワクチン成分

経鼻投与



#### 経鼻投与：

ウイルスの進入を阻止して、インフルエンザ感染予防に役立つ。注射なしでワクチンを投与でき、ウイルスのタイプが変わっても高い感染防御能を示すことで注目されている。

#### 注射投与：

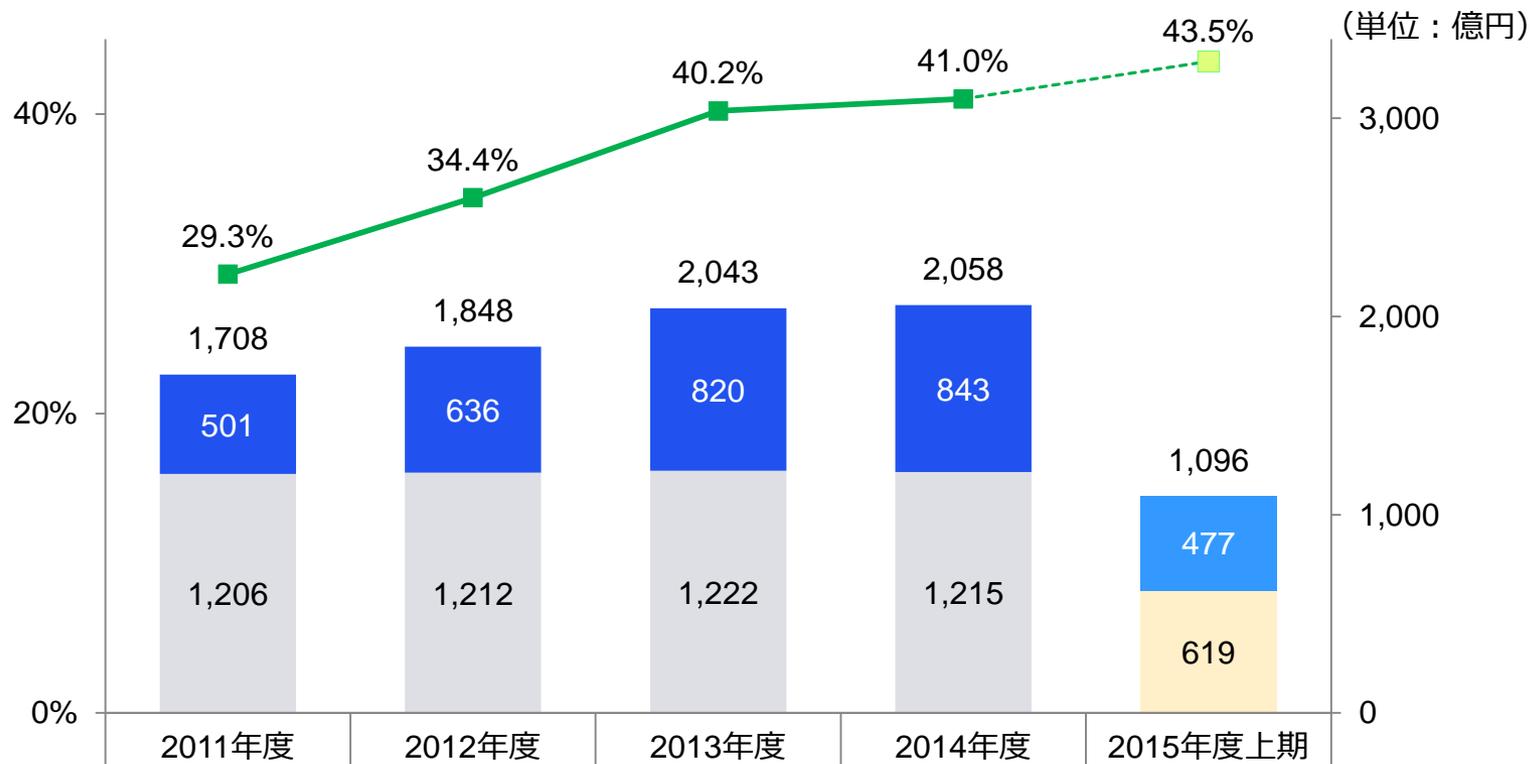
ウイルスの進入を阻止できないが、症状を和らげるのに役立つ。

## 5. ご参考

## 2015年標語(ご参考)

**世界へ広げる  
技術と信頼  
みんなで創ろう  
ADEKAの未来**

# 海外売上高(ご参考)



海外売上高	501	636	820	843	477
国内売上高	1,206	1,212	1,222	1,215	619
海外売上高比率	29.3%	34.4%	40.2%	41.0%	43.5%
売上高	1,708	1,848	2,043	2,058	1,096

注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

## 2015年度上期（第2四半期）決算説明補足資料

- I. 連結決算補足資料
- II. 経営指標等
- III. ご参考
  - 単独・連結子会社の決算概要
  - ADEKAグループ概要（連結子会社・持分法適用会社）
  - 事業区分別主力製品

取締役常務執行役員 富安 治彦

## I-1. 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2015.3.31現在)	当第2四半期末 (2015.9.30現在)	前期末比 増減
<b>資産の部</b>			
流動資産 ①	135,558	141,623	6,064
固定資産	125,553	125,559	5
有形固定資産 ②	76,640	78,617	1,976
無形固定資産	3,460	3,857	396
投資その他の資産 ③	45,452	43,084	△ 2,367
資産合計	261,112	267,182	6,070
<b>負債の部</b>			
流動負債 ④	69,493	66,875	△ 2,617
固定負債 ⑤	28,385	32,152	3,767
負債合計	97,878	99,028	1,149
<b>純資産の部</b>			
株主資本	143,251	147,415	4,163
資本金	22,899	22,899	—
資本剰余金	19,925	19,925	—
利益剰余金	100,652	104,816	4,164
自己株式	△ 226	△ 227	△ 0
その他の包括利益累計額	13,667	13,476	△ 190
その他有価証券評価差額金	6,363	5,572	△ 791
土地再評価差額金	4,095	4,095	—
為替換算調整勘定	5,316	5,795	479
退職給付に関する調整累計額	△ 2,108	△ 1,986	121
非支配株主持分	6,314	7,262	947
純資産合計	163,233	168,153	4,920
負債及び純資産合計	261,112	267,182	6,070

POINT①

流動資産の増加

受取手形及び売掛金の増加 3,128百万円

たな卸資産の増加 1,345百万円

POINT②

有形固定資産の増加

機械装置及び運搬具の増加 2,739百万円

POINT③

投資その他の資産の減少

投資有価証券の減少 △1,557百万円

POINT④

流動負債の減少

1年内返済予定の長期借入金の減少 △3,121百万円

POINT⑤

固定負債の増加

長期借入金の増加 3,295百万円

注1) 金額は百万円未満を切り捨てて表示 注2) 有形固定資産の減価償却累計額 157,721百万円

## I-2. キャッシュフロー計算書(要約)

## 連結

(単位：百万円)

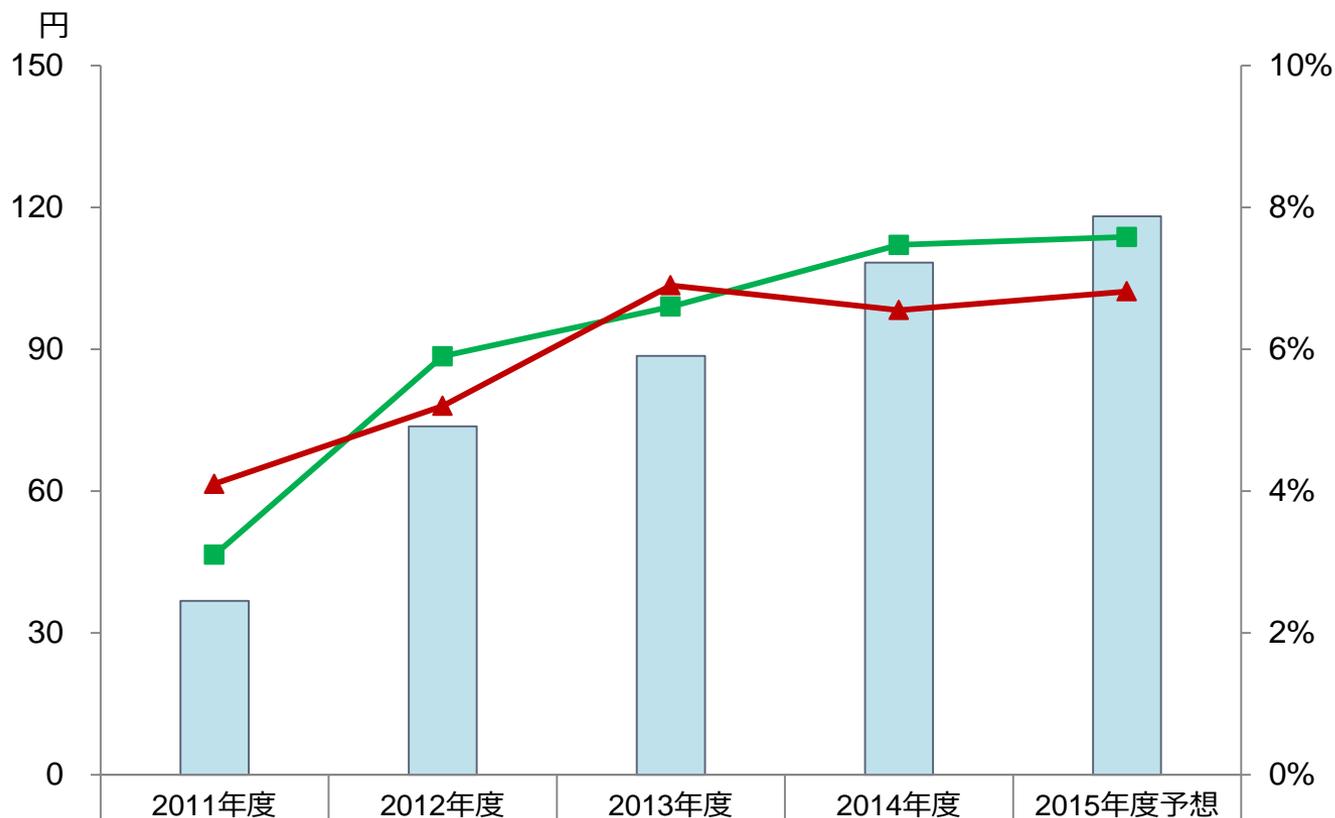
	前第2四半期連結累計年度 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計年度 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ①	6,041	7,688
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,480	△5,403
財務活動によるキャッシュ・フロー	△953	△1,792
現金及び現金同等物に係る換算差額	△377	222
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△769	715
現金及び現金同等物の期首残高	38,670	41,697
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	577
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,901	42,990

**POINT①** 営業活動によるキャッシュ・フローの収入増は、税金等調整前四半期純利益の増加が主な要因である。

注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示

# Ⅱ-1. 収益性

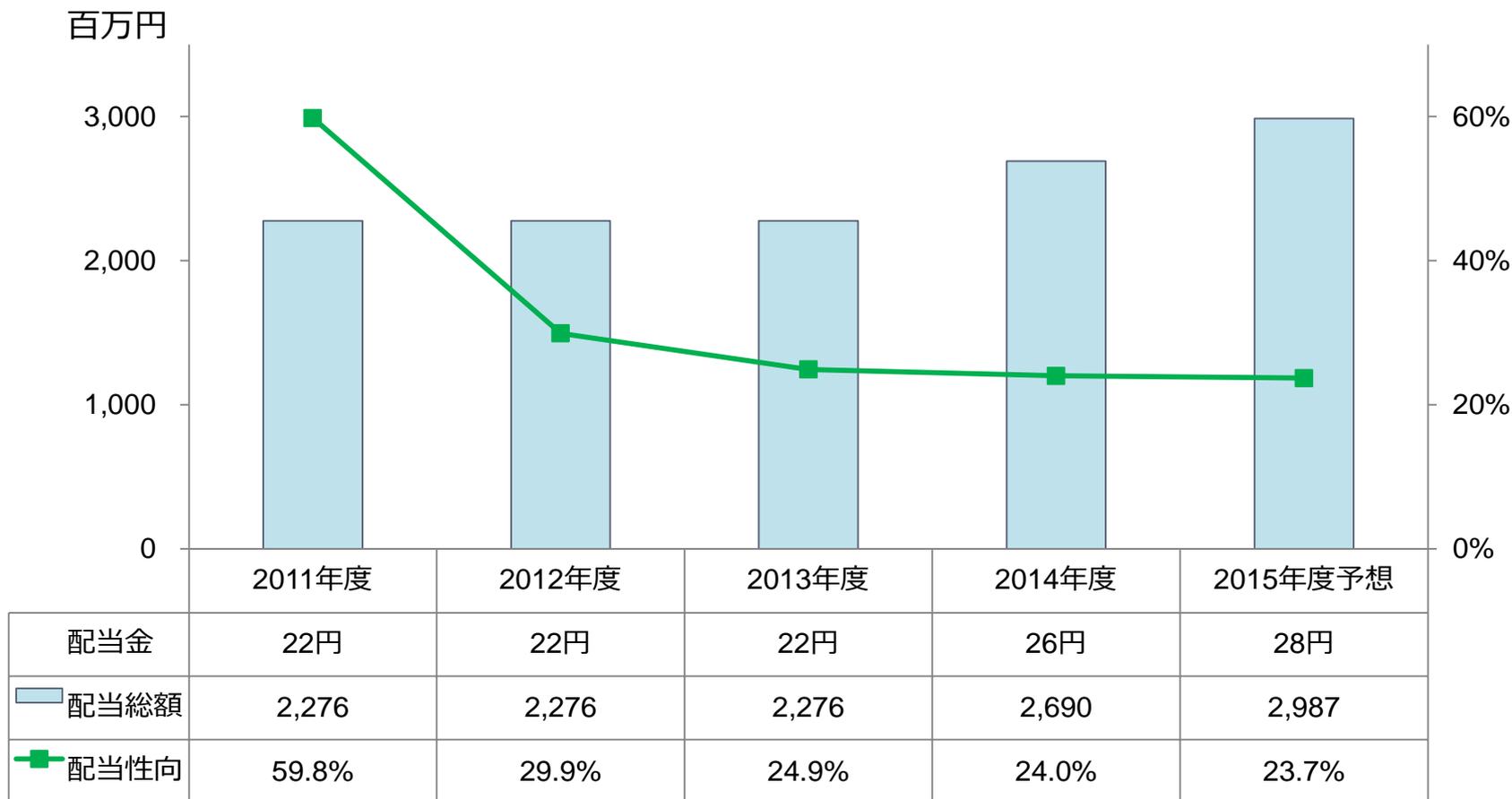
連結



注) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

# Ⅱ-2. 配当金、配当性向

連結



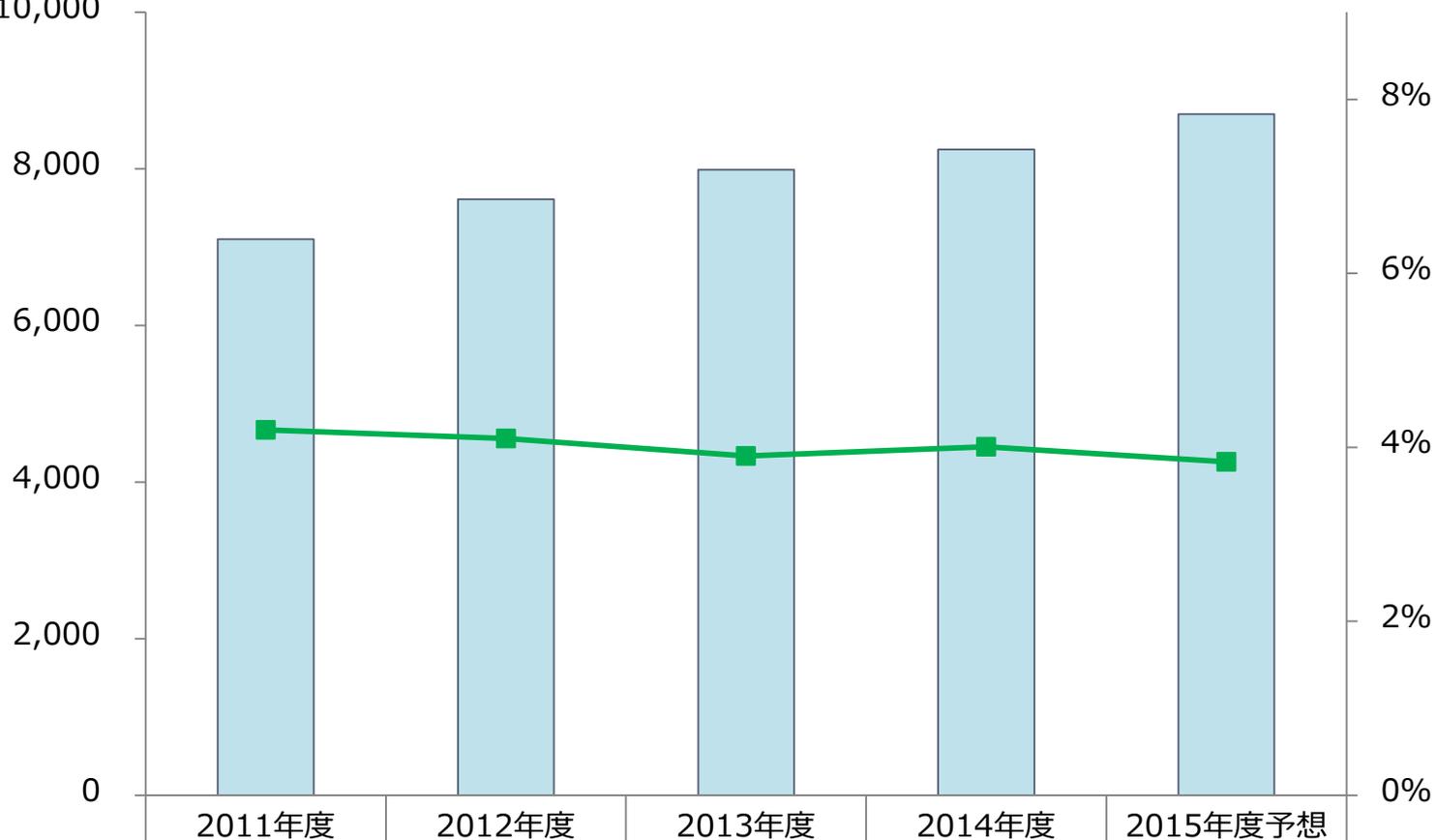
注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 配当総額は百万円未満を切り捨てて表示

# Ⅱ-3. 研究開発費

連結

百万円

10,000



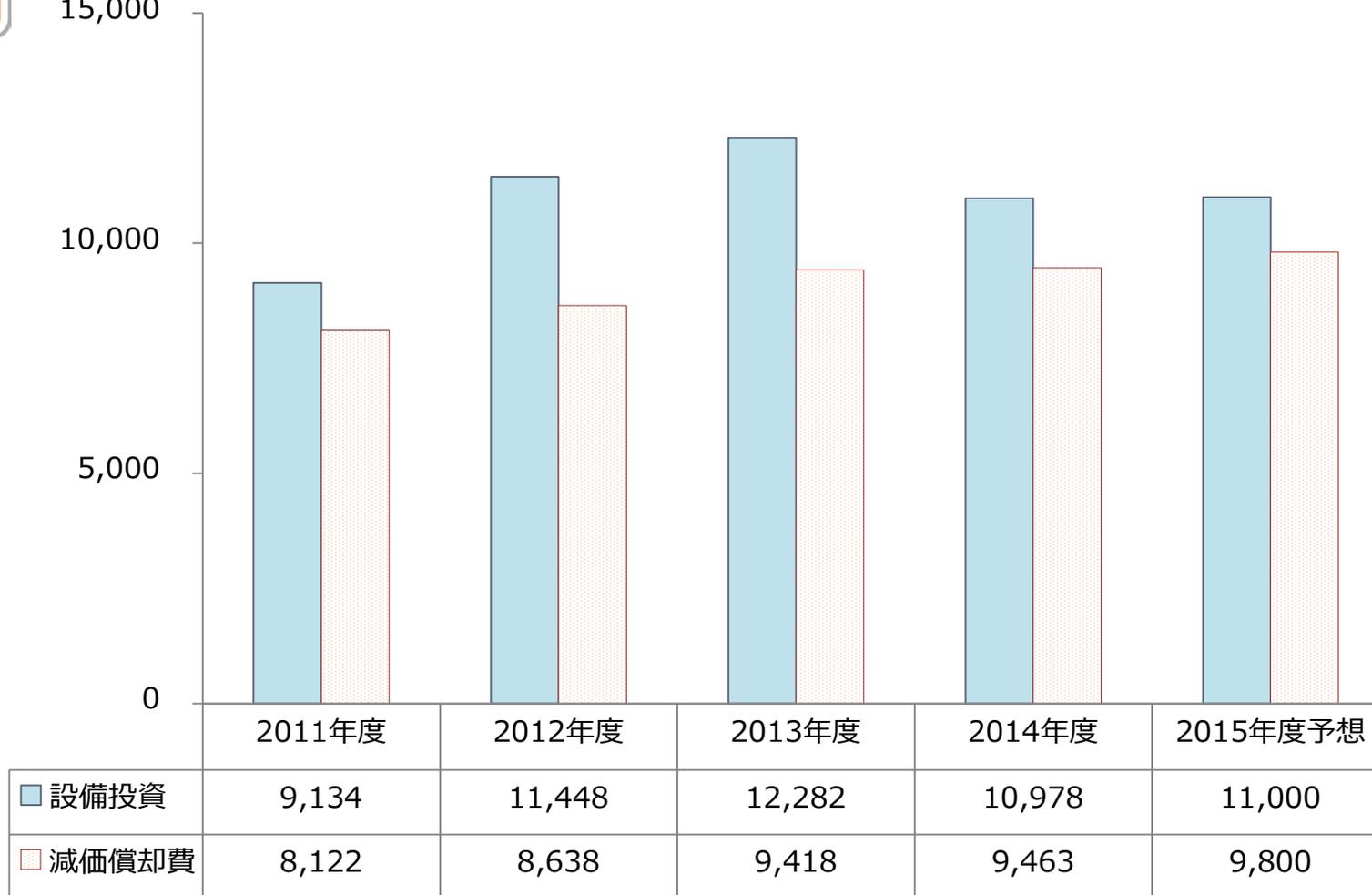
■ 研究開発費	7,101	7,614	7,988	8,247	8,700
■ 売上高研究開発費比率	4.2%	4.1%	3.9%	4.0%	3.8%

注) 研究開発費は百万円未満を切り捨てて表示

# Ⅱ-4. 設備投資

連結

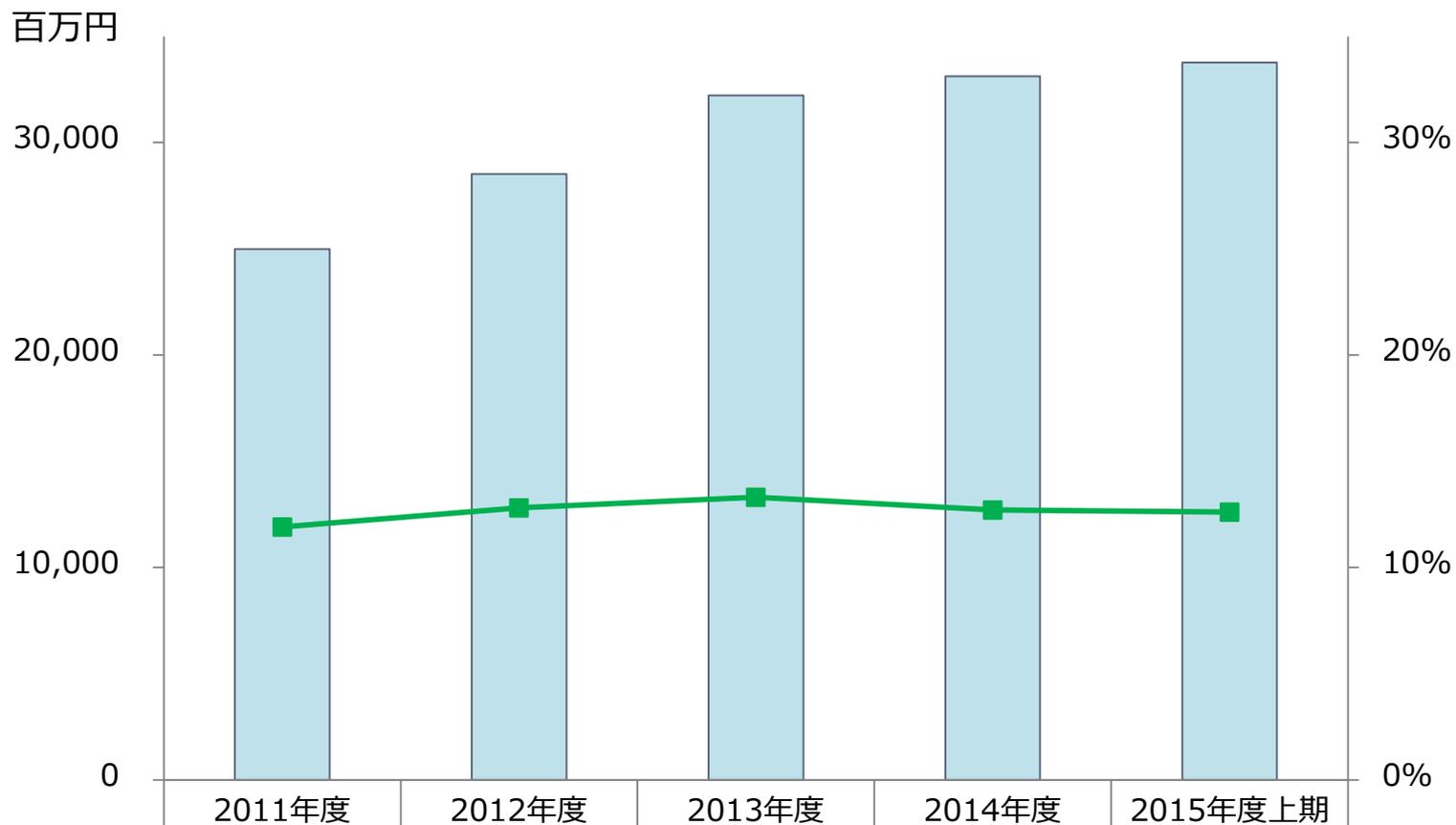
百万円  
15,000



注) 設備投資、減価償却費は百万円未満を切り捨てて表示

# Ⅱ-5. 有利子負債

連結



有利子負債	24,992	28,513	32,222	33,123	33,767
有利子負債依存度	11.9%	12.8%	13.3%	12.7%	12.6%

注) 有利子負債は百万円未満を切り捨てて表示

## Ⅲ-1. 単独・連結子会社の決算概要(2015年度上期)

(単位：億円)

単独決算				
	2014年度 上期	2015年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	588	610	21	3.7
営業利益	37	55	17	45.4
経常利益	43	56	13	30.2
四半期 純利益	32	41	9	28.7
1株当たり 純利益	31.3	40.3		

国内(10社)				
	2014年度 上期	2015年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	352	374	21	6.0
営業利益	6	5	△0	△10.9

海外(15社)注1				
	2014年度 上期	2015年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	511	598	87	17.1
営業利益	25	33	7	30.1

連結調整(消去他)		
	2014年度 上期	2015年度 上期
売上高	△449	△486
営業利益	△1	△4

注1) 2015年度からマレーシアのADEKA FOODS (ASIA) を連結の範囲に追加 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

### Ⅲ. ご参考

## Ⅲ-2. 連結子会社概要(国内10社)

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	ADEKAケミカルサプライ(株)	104百万円	98.04 (間接所有3.61)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
化学品	ADEKAクリーンエイド(株)	140百万円	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
化学品	オキシラン化学(株)	600百万円	50.00	エポキシ系可塑剤等の製造販売
食品	ADEKA食品販売(株)	42百万円	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
食品	(株)ヨンゴー	18百万円	92.14	製菓・製パン業務用資材の卸売
食品	ADEKAファインフーズ(株)	50百万円	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造販売
食品	上原食品工業(株)	70百万円	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト調理食品の製造販売
その他	ADEKA物流(株)	50百万円	100.00	当社物流の総元請、倉庫業、車輜等のリース
その他	ADEKA総合設備(株)	130百万円	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
その他	ADEKAライフクリエイト(株)	65百万円	90.00 (間接所有10.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営

注) 資本金は百万円未満を切り捨てて表示

## Ⅲ-3. 連結子会社概要(海外15社)

セグメント	国名	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	米国	AMFINE CHEMICAL CORP.	1,600万USドル	60.00	樹脂添加剤の製造・販売
化学品	台湾	長江化学股份有限公司	3,000万NTドル	50.50	樹脂添加剤及び特殊可塑剤等の販売
化学品	韓国	ADEKA KOREA CORP.	150億ウォン	100.00	化学製品の製造・販売
化学品	シンガポール	ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	80万USドル	100.00	化学製品の販売
化学品	ドイツ	ADEKA Europe GmbH	50万ユーロ	100.00	化学製品の販売
化学品	フランス	ADEKA PALMAROLE SAS	300万ユーロ	90.00 (間接所有90.00)	樹脂添加剤の製造・販売
化学品	台湾	台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTドル	100.00	ADEKAグループ製品の販売
化学品	中国	艾迪科(上海)貿易有限公司	100万USドル	100.00	化学製品の販売
化学品	中国	艾迪科精細化工(上海)有限公司	2,050万USドル	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料等の製造・販売
化学品	中国	艾迪科精細化工(常熟)有限公司	2,154万USドル	50.00	樹脂添加剤の製造・販売
化学品	タイ	ADEKA FINE CHEMICAL(THAILAND)CO.,LTD.	3億5000万バーツ	81.00	化学製品の製造・販売
化学品	米国	AM STABILIZERS CORP.	850万USドル	60.00 (間接所有60.00)	樹脂添加剤の製造・販売
食品	シンガポール	ADEKA(SINGAPORE)PTE.LTD.	800万Sドル	90.00	食用加工油脂、冷凍パイ生地及び関連食品の製造・販売
食品	中国	艾迪科食品(常熟)有限公司	1,500万USドル	70.00	食用油脂、油脂加工食品の製造・販売
食品	マレーシア	ADEKA FOODS(ASIA)SDN.BHD.	45百万RM	60.00	加工油脂製品の製造・販売

## Ⅲ-4. 持分法適用会社概要

持分法適用会社	資本金	出資比率	事業内容
日本農薬(株)	10,939百万円	24.21%	農薬等の製造販売
(株)コープクリーン	80百万円	46.88%	石鹼、洗剤等の開発、販売

※ 持分法適用会社の増減はなし。

注) 資本金は百万円未満を切り捨てて表示

## Ⅲ-5. 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光材料、記録材料、画像材料、その他
		機能化学品	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、その他
		基礎化学品	プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、工業用油脂誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、ホイップクリーム、濃縮乳タイプクリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他		

## 業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。